

## 第 15 回 高大連携協議会（機械系）議事録

日時：令和元年 12 月 5 日（木）15:30～17:30

会場：宮崎大学工学部 C 棟 C421 会議室

出席者（敬称略・順不同）：

<工業高校>

中城 剛（延岡工業），原田 弘樹（日向工業），國府 正（佐土原），  
永井 誠穂（宮崎工業），陰山 淳一（都城工業），江藤 宏充（小林秀峰），  
中城 清治（日南振徳）

<宮崎大学>

鄧 鋼，申 炳録，長瀬 慶紀，河村 隆介，大西 修，各務 聡，  
盆子原 康博，木之下 広幸，山子 剛，古池 仁暢

進行：中城 清治（日南振徳）

記録：河村 隆介（宮崎大学）

協 議 内 容	担 当
議事に先立ち，出会者の自己紹介を行い，配布資料を確認した。	全員
<p>(1) 高校側状況報告</p> <p>高校 3 年生の進路状況について</p> <p>延岡工業高校：機械科 40 名の内，就職希望者は 37 名，進学希望者は 3 名。 延岡市内の企業への就職が多く，県内就職率が高い。</p> <p>日向工業高校：機械科 38 名の内，就職希望者は 34 名，進学希望者は 4 名。 就職を目指して入学してくる生徒が多い。</p> <p>佐土原高校：電子機械科 79 名の内，就職希望者は 59 名，進学希望者は 20 名。 県内就職者が 5 割を超えた。2 年生の進学希望者が多い。</p> <p>宮崎工業高校：機械科と生産システム科を合わせて 72 名の内，就職希望者は 46 名， 進学希望者は 16 名。求人が多く，就職が好調。</p> <p>都城工業高校：機械科と情報制御システム科を合わせて 74 名の内，就職希望者は 63 名， 進学希望者は 11 名。県外への就職が好調。</p> <p>小林秀峰高校：機械科 39 名の内，就職希望者は 27 名，進学希望者は 12 名。 保護者の意向が生徒の就職先に影響している傾向。</p> <p>日南振徳高校：機械科 28 名の内，就職希望者は 22 名，進学希望者は 6 名。 地元の企業数が少なく，県内就職率は多くない。少子化が影響。</p>	中城， 各高校教諭
<p>(2) 大学側状況報告</p> <p>木花キャンパスの附属図書館及び農学部の改修工事が行われていること， 外国人留学生のための大学院生向け教育プログラム (Special Program, Double Degree Program) において英語で授業を受ける機会が増えていること，令和 3 年度工学部改組に向けて準備中であること，学科 4 年生の英語授業科目 (科学技術英語) の受講条件として TOEIC 試験受験を課したことについて報告があった。令和元年度の学科 4 年生の進路状況については，就職希望者 26 名，</p>	中城，河村， 申

進学希望者 28 名（宮崎大院 22 名，他大学院 6 名），就職（進学）内定率は 100% で，自動車関連会社の内定者が多く，14 名であった。大学院修士 2 年生の進路状況については，就職希望者 21 名，博士課程進学希望者 1 名，就職（進学）内定率は 100% であるが，学部卒業予定者及び大学院修了予定者の県内就職率は低い水準であることが報告された。

(3) 今後の高大連携について

1) 工業高校生の大学でのインターンシップについて

日本機械学会の機械の日関連行事の一環として，8 月 21 日～23 日（3 日間）に実施し，高校生 5 名の参加があった。アンケート調査結果によれば，参加の目的は大学進学の参考とすること，開催時期は今の時期で良いこと，参加した生徒からインターンシップへの参加によって大学進学を決意できた，大学進学後は勉学に励みたいなどの感想があり，当行事は高校生のキャリア意識の醸成に有用であったと報告があった。高校教諭から生徒へ参加を勧めていただいたことに謝意が示された。実施時期については，高校側から 3 年生にとっては AO 入試の出願に近い。2 年生にとっては部活動の大会等があり，調整が難しい状況であるという意見があった。また，大学生との交流を希望しており，大学生が大学で研究している時期を希望する意見があった。協議の結果，次年度も引き続き実施することとした。来年 6 月頃に大学から高校へ開催案内を行うことにした。

2) 大学生の高校でのスクールトライアルについて

学科 2 年生 1 名が参加，10 月 30 日～11 月 1 日（3 日間）に都城工業高校で受入されたことの報告があった。参加学生の報告書によれば，学校体験により高校教諭の職務内容を知ると同時に，仕事にやりがいがあることがわかり，夢の実現を目指して励みたいとの感想があり，学生の受入に対して謝意が示された。次年度も学科 1，2 年次の学生に対して案内することとした。

(4) 大学入学前教育について

大学側から，工学基礎教育センターによる数学及び物理の通信教育，物理実験教室のスクーリング，当学科による研究紹介コンテンツに対する感想文の提出，及び通信教育の添削済み見直し答案の再提出に加えて，今年度から工学部国際教育センターによる英語の入学前教育が実施されることについて報告があった。高校側から国公立大学受験者を対象とした大学入試センター試験講座において，基礎学力強化のための数学，英語，及び物理等の課外の実施，学年末考査後の宅習期間中に学習会を実施，大学から課題がある生徒に対し，高校教諭が質問に対応していること，数年前から英検と併せて TOEIC Bridge への受験を行っているという回答があった。今後も引き続き，高校側へ指導をお願いすることとした。

中城，河村

中城，河村

中城，河村  
各高校教諭





第 15 回 高大連携協議会（機械系）の様子 2019 年 12 月 5 日（木）宮崎大学